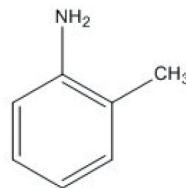


本件事業場で取り扱われている発がんに関する芳香族アミン

1. オルトートルイジン (o-Toluidine)

- ・CAS番号 95-53-4
- ・外観 無色～黄色の液体 ・沸点 200℃
- ・用途 染料・顔料の中間体原料、エポキシ樹脂硬化剤原料
- ・安衛法上の位置付け SDS交付対象物質
- ・有害性情報



IARC (国際がん研究機関) グループ1 (ヒトに対して発がん性がある)

※オルトートルイジンは膀胱がんを引き起こすと指摘されている。

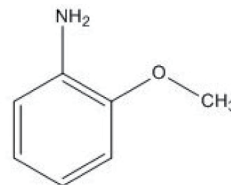
日本産業衛生学会 発がん分類 2A (ヒトに対しておそらく発がん性がある)、許容濃度 1ppm

ACGIH (米国産業衛生専門家会議) 発がん性区分 A3 (動物に対して発がん性がある)

TLV-TWA 2ppm

2. オルトーアニシジン (o-Anisidine)

- ・CAS番号 90-04-0
- ・外観 赤色～黄色の液体体 ・沸点 213℃
- ・用途 染料中間体
- ・安衛法上の位置付け SDS交付対象物質
- ・有害性情報



IARC (国際がん研究機関) グループ2B (ヒトに対する発がん性が疑われる)

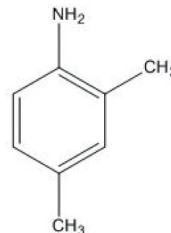
日本産業衛生学会 発がん分類 2B (ヒトに対する発がん性が疑われる)、許容濃度 0.1ppm

ACGIH (米国産業衛生専門家会議) 発がん性区分 A3 (動物に対して発がん性がある)

TLV-TWA 0.5mg/m³

3. 2,4-キシリジン (2,4-Xylidine)

- ・CAS番号 95-68-1
- ・外観 澄明で淡黄色の液体体 ・沸点 214℃
- ・用途 染料・顔料中間体
- ・安衛法上の位置づけ SDS交付対象物質



・有害性情報

IARC(国際がん研究機関) グループ3(分類できない)

ACGIH(米国産業衛生専門家会議) 発がん性区分 A3(動物に対して発がん性がある)

※Xylidine(異性体混合物)について

4. パラートルイジン(p-Toluidine)

・CAS番号 106-49-0

・外観 無色の薄片・融点44-45℃体 ・沸点 200℃

・用途 顔料中間体・農薬合成原料

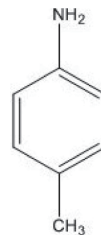
・安衛法上の位置づけ SDS交付対象物質

・有害性情報

IARC(国際がん研究機関) 評価なし

ACGIH(米国産業衛生専門家会議) 発がん性区分 A3(動物に対して発がん性がある)

TLV-TWA 2ppm



5. アニリン(Aniline)

・CAS番号 62-53-3

・外観 無色の液体体 ・沸点 184℃

・用途 ウレタン中間体合成原料、染料・ゴム製造用薬品・医薬・農薬合成原料

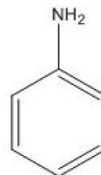
・安衛法上の位置づけ SDS交付対象物質

・有害性情報

IARC(国際がん研究機関) グループ3(分類できない)

ACGIH(米国産業衛生専門家会議) 発がん性区分 A3(動物に対して発がん性がある)

TLV-TWA 0.5ppm skin



※SDS交付対象物質とは、労働安全衛生法第57条の2に基づき、当該化学物質を含有する製剤等を譲渡又は提供する際に、製剤等の名称、成分、人体に及ぼす作用、貯蔵又は取扱い上の注意等の情報を記載した文書(安全データシート(SDS))を交付することが義務付けられている物質をいう。当該物質を取り扱う事業者は、労働安全衛生法第28条の2に基づき、化学物質による危険性又は有害性等の調査(リスクアセスメント)等の実施に努めること、労働安全衛生規則に基づく一般的健康障害防止措置を講ずることが求められる。